

2014年度 セキュリティ市場調査 **=速報=**

調査研究部会
セキュリティ市場調査WG

発表者： 木城 武康

(株式会社日立システムズ)

2015年 1 月20日

JNSA NetworkSecurityForum2015発表用

発表内容

1. JNSAセキュリティ市場調査WGについて
2. 調査方法のご説明
3. 2014年度セキュリティ市場調査報告：速報
4. 今後の活動スケジュール
5. 会員の皆様へお願い

1. WGについて

セキュリティ市場調査WG メンバーリスト



2015年1月7日現在

ワーキンググループリーダー

木城 武康 株式会社日立システムズ

ワーキンググループ活動メンバー

堀江 一成 株式会社アピリッツ

菅野 泰彦 アルプスシステムインテグレーション株式会社

川越 弘大 株式会社イーセクター

浜 義晃 株式会社イーセクター

兵藤 直嗣 株式会社イーセクター

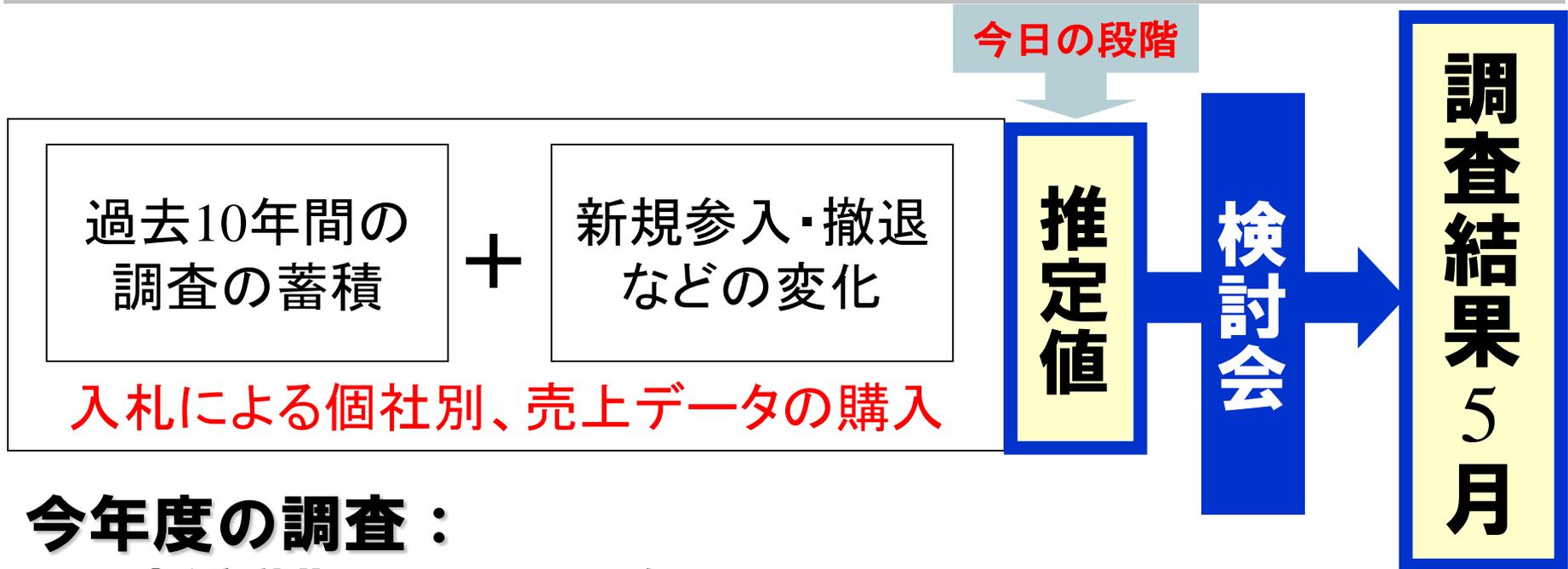
福岡 かよ子 株式会社インテック

勝見 勉*

蜂巢 悌史*

*サブスクリバ

2. 調査方法のご説明



今年度の調査：

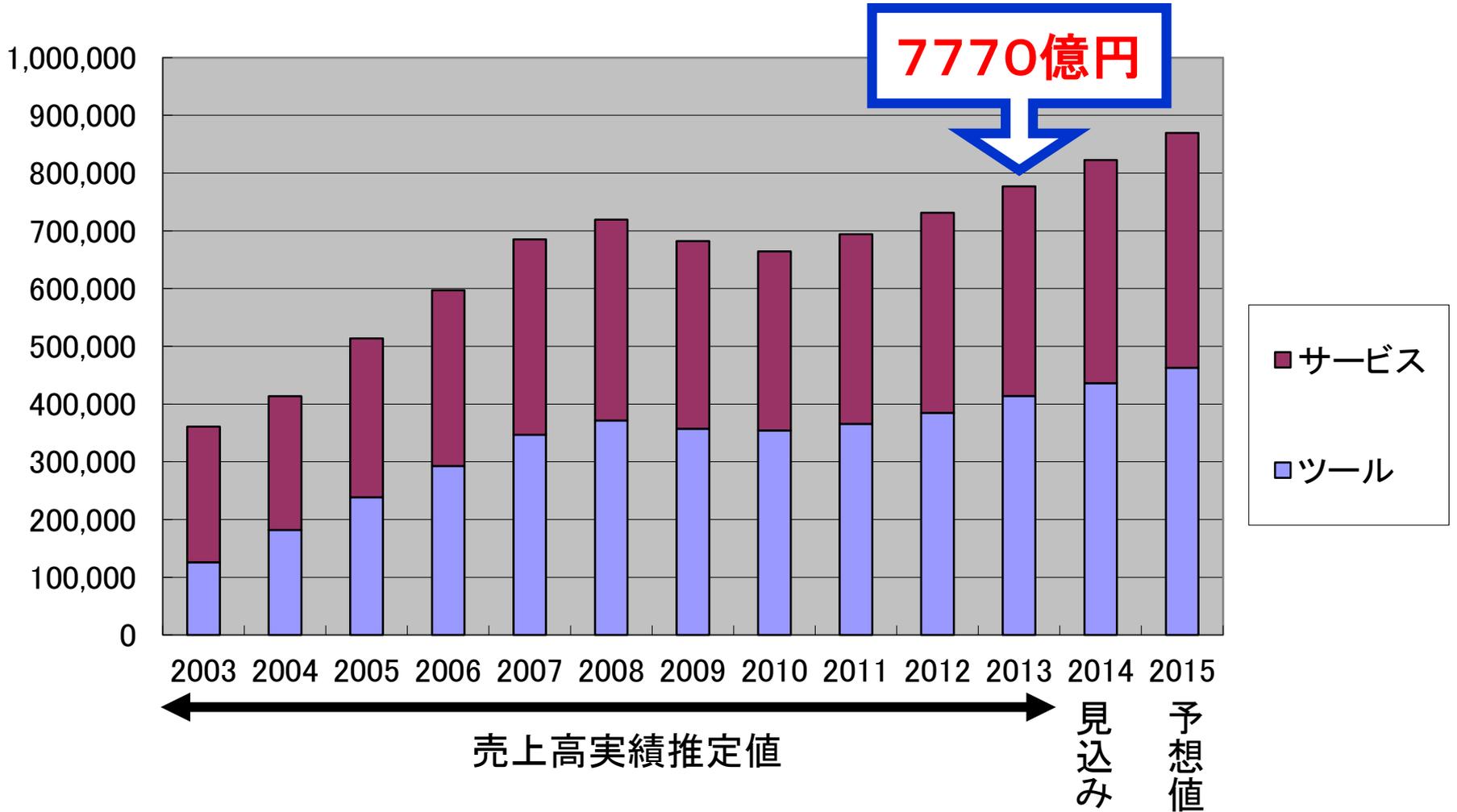
- 調査活動期間： 2014年6月～（現在も進行中、本日は速報値）
- 調査方法：アンケート調査はしない（回収率が悪く参考にならない）
各種統計・調査資料の参照
企業の事業概要・規模推定（対象数：470→**505社**）
検討会：WGメンバー情報や、公開情報を元にデータ修正
- 対象期間：2012, 2013年度実績 2014年度見込み 2015年度予測

3. 2014年度セキュリティ市場調査報告：速報 (2013年度確定、2014・2015年度推定予測)

市場区分の定義

2013年度も、検討の結果、2011年度2012年度と同じになりました。

セキュリティツール	統合型アプライアンス	FW、IDS、ウイルス対策等複数機能を持ったアプライアンス
	ネットワーク脅威対策製品	FW、IDS/IPS、VPN、アプリケーションファイアウォール
	コンテンツセキュリティ対策製品	ウイルス対策、スパム対策、URLフィルタ、メールフィルタ、DLP等
	アイデンティティ・アクセス管理製品	認証、ログオン管理・アクセス許可、PKI製品
	システムセキュリティ管理製品	セキュリティ情報統合管理、ポリシー・アクティビティ管理ツール、脆弱性検査ツール 等
	暗号製品	暗号化製品、暗号モジュール
セキュリティサービス	情報セキュリティコンサルテーション	ポリシー構築、監査・診断等セキュリティ管理全般コンサルティング、規格認証取得支援サービス
	セキュアシステム構築サービス	ITセキュリティの設計、導入、製品選定支援 等
	セキュリティ運用・管理サービス	マネージドサービス(ITセキュリティの監視、運用支援)、プロフェッショナルサービス、電子認証サービス 等
	情報セキュリティ教育	教育実施、コンテンツ提供、教育ASP、資格認定 等
	情報セキュリティ保険	情報セキュリティおよびITセキュリティ保険



年度別売上高推計値 金額単位:百万円	2011年度		2012年度			2013年度			2014年度			2011-2014平均伸び率
	売上実績推定値		売上実績推定値			売上高見込推定値			売上高予測値			
	金額	構成比	金額	構成比	前年比伸び率	金額	構成比	前年比伸び率	金額	構成比	前年比伸び率	
統合型アプライアンス	19,229	5.3%	20,120	5.2%	4.6%	21,141	5.2%	5.1%	22,203	5.2%	5.0%	4.9%
ネットワーク脅威対策製品	49,924	13.7%	52,112	13.5%	4.4%	54,122	13.3%	3.9%	56,061	13.2%	3.6%	3.9%
コンテンツセキュリティ対策製品	139,299	38.1%	147,028	38.2%	5.5%	154,964	38.2%	5.4%	162,176	38.2%	4.7%	5.2%
アイデンティティ・アクセス管理製品	65,523	17.9%	68,846	17.9%	5.1%	71,791	17.7%	4.3%	74,534	17.5%	3.8%	4.4%
システムセキュリティ管理製品	51,747	14.2%	55,108	14.3%	6.5%	58,869	14.5%	6.8%	62,620	14.7%	6.4%	
暗号化製品	39,838	10.9%	41,693	10.8%	4.7%	44,572	11.0%	6.9%	47,235	11.1%	6.0%	2011-2014平均伸び率
セキュリティツール製品	365,562	100.0%	384,907	100.0%	5.3%	405,460	100.0%	5.3%	424,829	100.0%	4.8%	
		52.7%		52.6%			52.9%			53.2%		

昨年調査結果	2011年度		2012年度			2013年度			2014年度			2011-2014平均伸び率
	売上実績推定値		売上実績推定値			売上高見込推定値			売上高予測値			
	金額	構成比	金額	構成比	前年比伸び率	金額	構成比	前年比伸び率	金額	構成比	前年比伸び率	
情報セキュリティコンサルテーション	67,958	20.7%	70,165	20.3%	3.2%	72,249	20.0%	3.0%	74,250	19.9%	2.8%	3.0%
セキュアシステム構築サービス	129,395	39.4%	138,889	40.1%	7.3%	144,481	40.1%	4.0%	148,289	39.8%	2.6%	4.6%
セキュリティ運用・管理サービス	98,417	30.0%	103,189	29.8%	4.8%	108,747	30.2%	5.4%	114,397	30.7%	5.2%	5.1%
情報セキュリティ教育	25,237	7.7%	26,574	7.7%	5.3%	27,387	7.6%	3.1%	28,132	7.5%	2.7%	3.7%
情報セキュリティ保険	7,468	2.3%	7,640	2.2%	2.3%	7,799	2.2%	2.1%	7,930	2.1%	1.7%	2.0%
情報セキュリティサービス	328,475	100.0%	346,457	100.0%	5.5%	360,664	100.0%	4.1%	372,998	100.0%	3.4%	4.3%
		47.3%		47.4%			47.1%			46.8%		

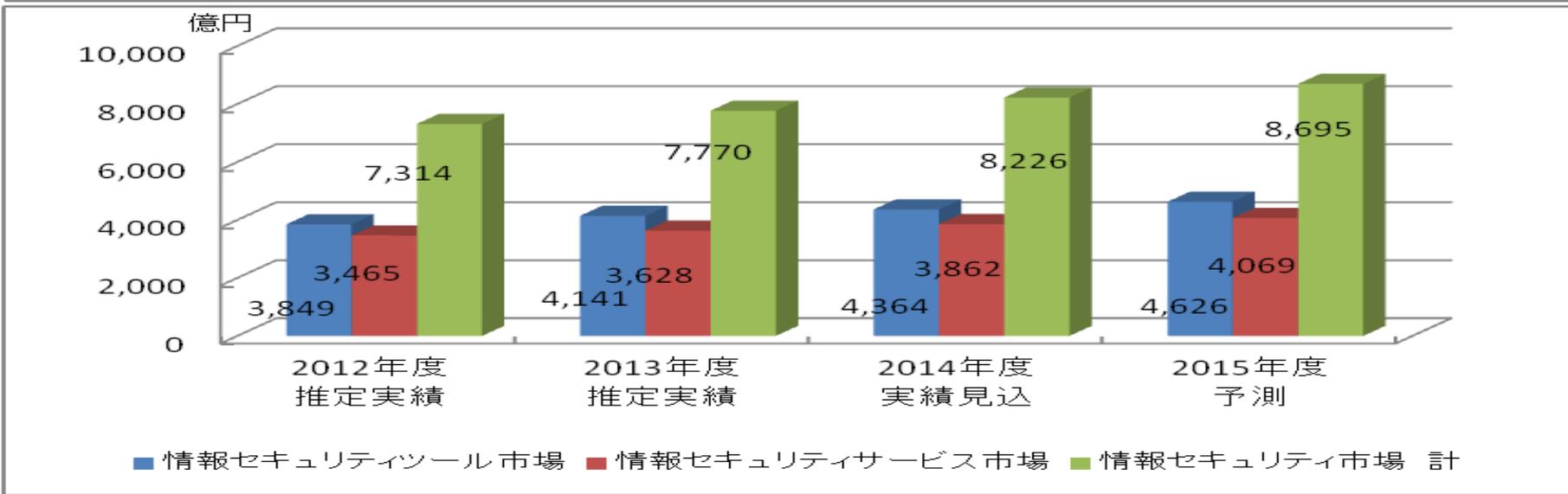
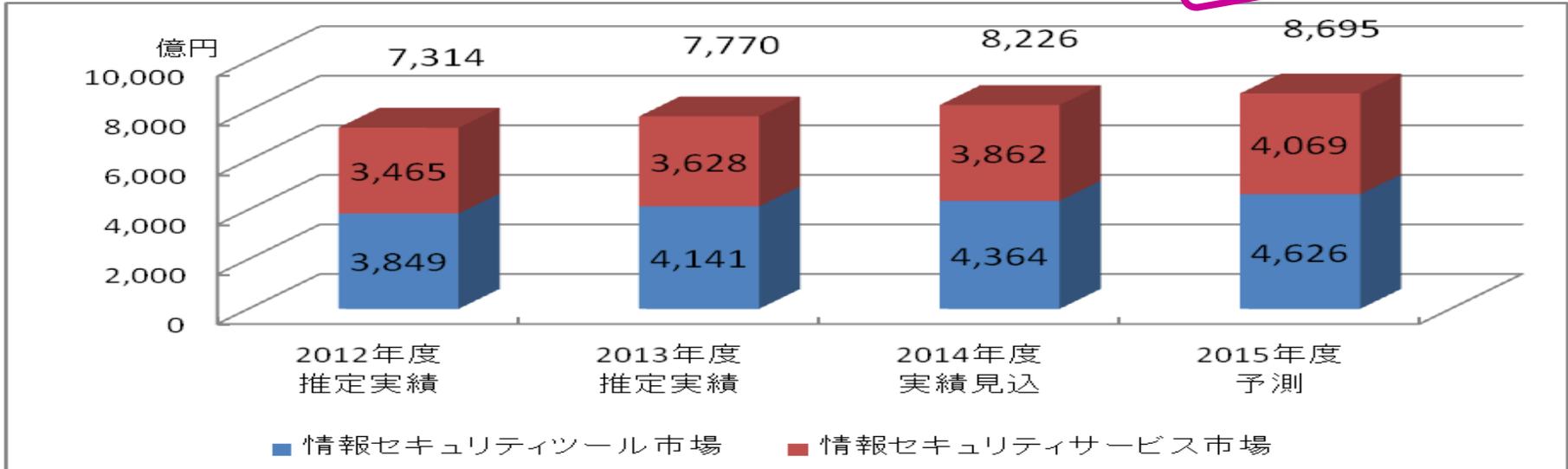
セキュリティツール+サービス	694,036	100.0%	731,364	100.0%	5.4%	766,124	100.0%	4.8%	797,827	100.0%	4.1%	4.8%
----------------	---------	--------	---------	--------	------	---------	--------	------	---------	--------	------	------

2014年度市場調査 速報	2011年度		2012年度			2013年度			2014年度			2015年度		
	売上実績推定値		売上実績推定値			売上実績推定値			売上高見込推定値			売上高予測値		
	金額	構成比	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比
統合型アプライアンス	19,229	5.3%	20,120	5.2%	4.6%	21,449	5.2%	6.6%	22,649	5.2%	5.6%	24,007	5.2%	6.0%
ネットワーク脅威対策製品	49,924	13.7%	52,112	13.5%	4.4%	54,482	13.2%	4.5%	60,124	13.8%	10.4%	63,731	13.2%	6.0%
コンテンツセキュリティ対策製品	139,299	38.1%	147,028	38.2%	5.5%	158,234	38.2%	7.6%	164,537	37.7%	4.0%	174,409	38.2%	6.0%
アイデンティティ・アクセス管理製品	65,523	17.9%	68,846	17.9%	5.1%	73,727	17.8%	7.1%	77,027	17.7%	4.5%	81,649	17.5%	6.0%
システムセキュリティ管理製品	51,747	14.2%	55,108	14.3%	6.5%	60,468	14.6%	9.7%	63,268	14.5%	4.6%	67,064	14.7%	6.0%
暗号化製品	39,838	10.9%	41,693	10.8%	4.7%	45,779	11.1%	9.8%	48,779	11.2%	6.6%	51,706	11.1%	6.0%
セキュリティツール製品	365,562	52.7%	384,907	52.6%	5.3%	414,139	53.3%	7.6%	436,383	53.1%	5.4%	462,566	53.2%	6.0%
情報セキュリティコンサルテーション	67,958	20.7%	70,165	20.3%	3.2%	72,731	20.0%	3.7%	76,331	19.8%	4.9%	80,147	19.9%	5.0%
セキュアシステム構築サービス	129,395	39.4%	138,889	40.1%	7.3%	144,875	39.9%	4.3%	151,375	39.2%	4.5%	158,944	39.8%	5.0%
セキュリティ運用・管理サービス	98,417	30.0%	103,189	29.8%	4.8%	109,379	30.1%	6.0%	120,607	31.2%	10.3%	127,843	30.7%	6.0%
情報セキュリティ教育	25,237	7.7%	26,574	7.7%	5.3%	26,979	7.4%	1.5%	27,979	7.2%	3.7%	29,378	7.5%	5.0%
情報セキュリティ保険	7,468	2.3%	7,640	2.2%	2.3%	8,885	2.4%	16.3%	9,885	2.6%	11.3%	10,577	2.1%	7.0%
情報セキュリティサービス	328,475	47.3%	346,457	47.4%	5.5%	362,849	46.7%	4.7%	386,176	46.9%	6.4%	406,889	46.8%	5.4%

セキュリティツール+サービス	694,036		731,364		5.4%	776,988		6.2%	822,560		5.9%	869,455		5.7%
----------------	---------	--	---------	--	------	---------	--	------	---------	--	------	---------	--	------

国内情報セキュリティ市場規模の暫定値

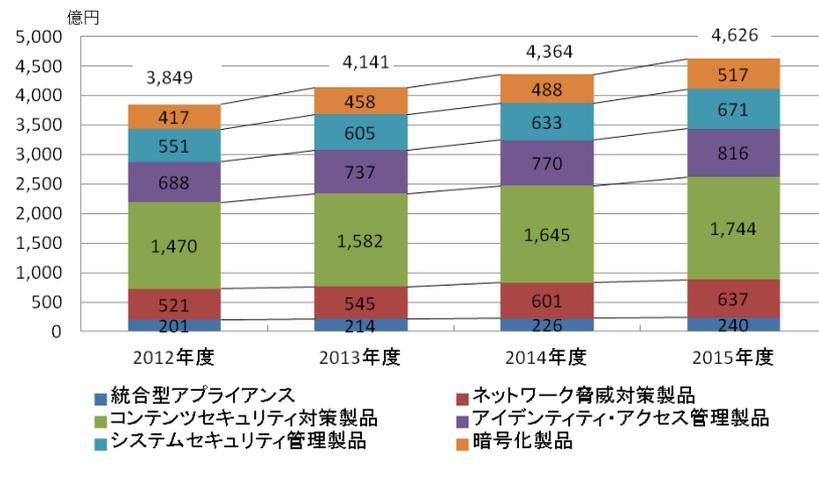
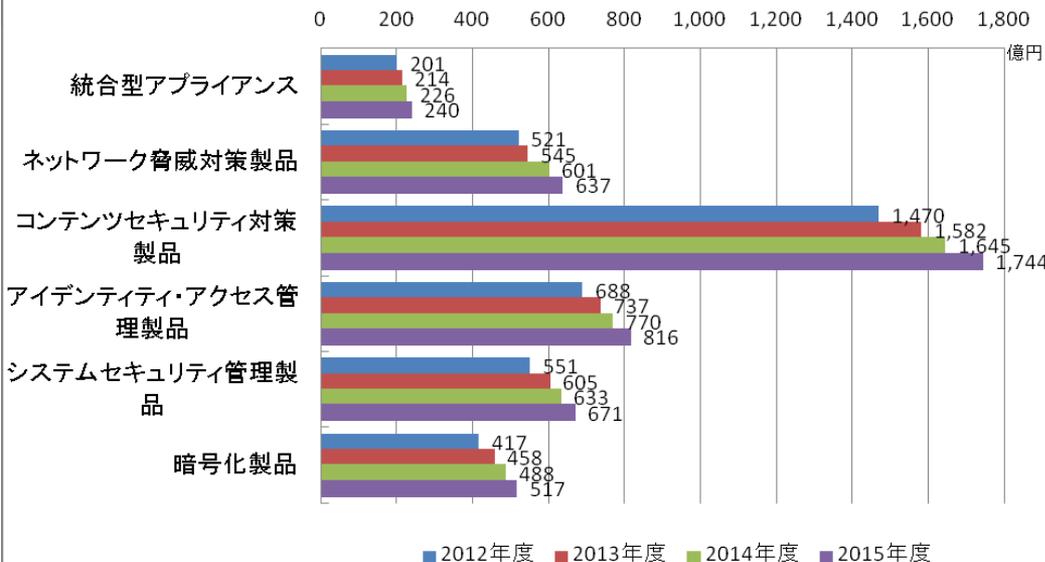
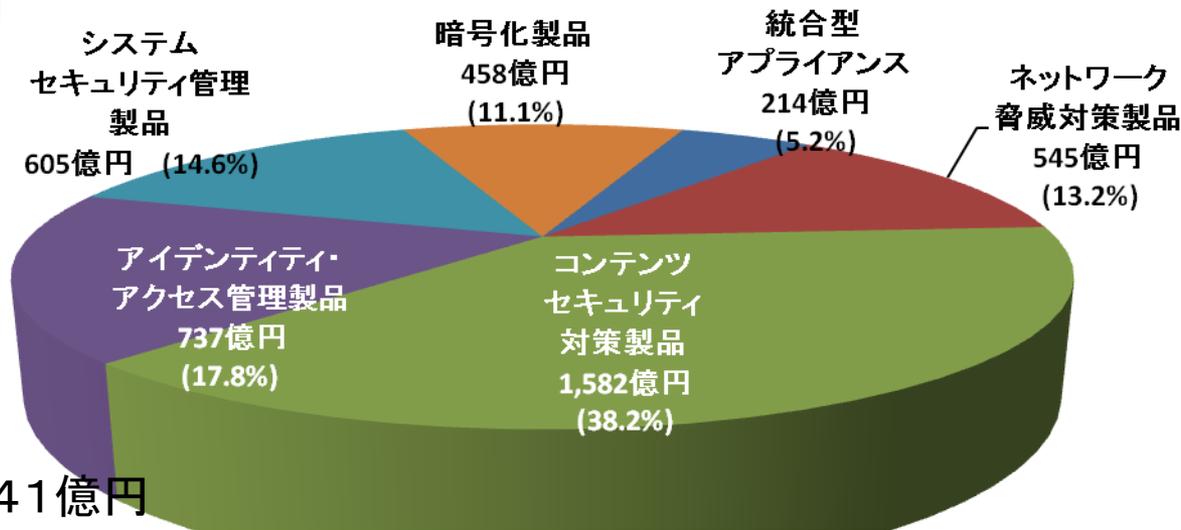
速報

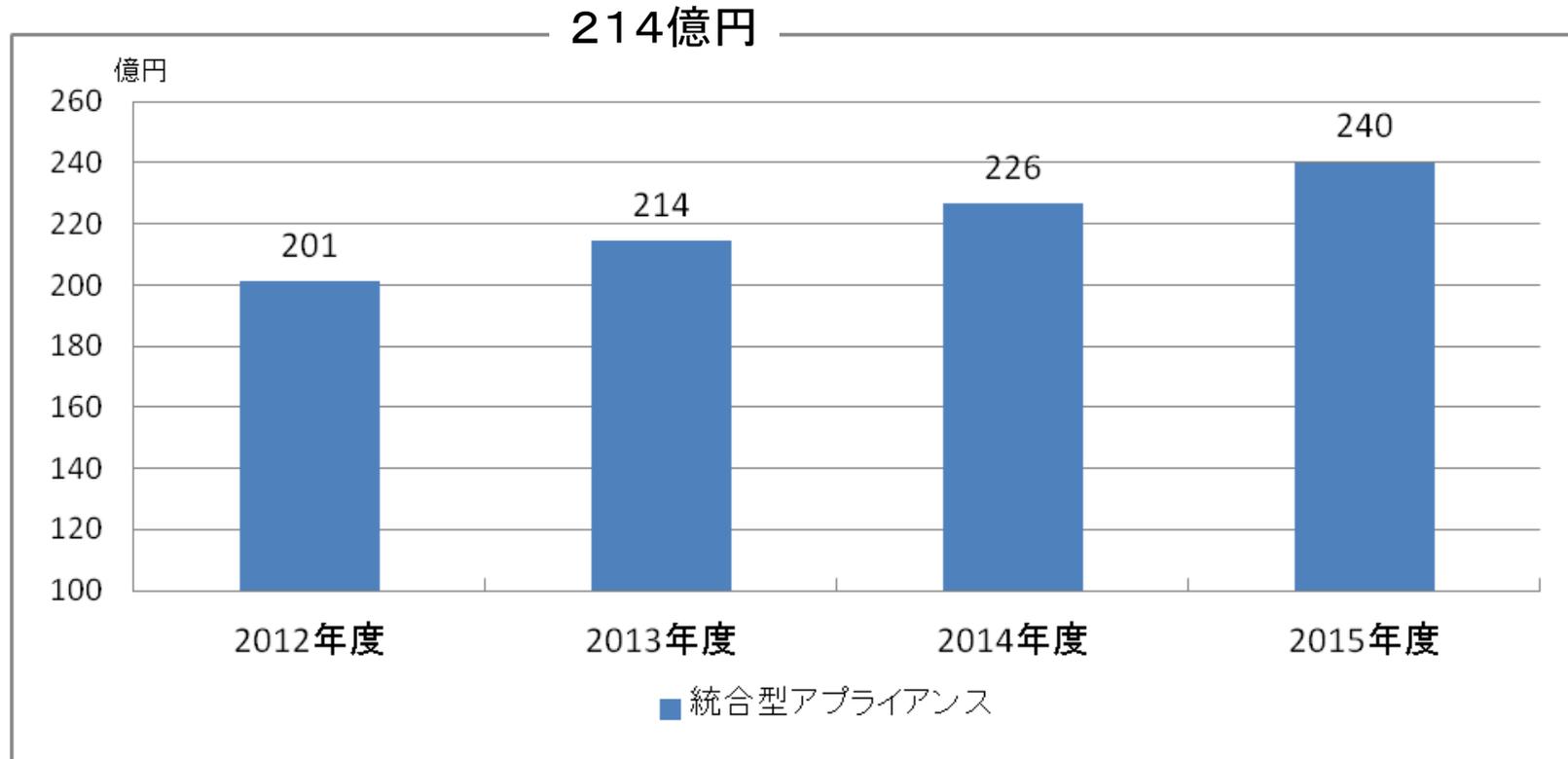


国内情報セキュリティツール市場推移

速報

- ツール全体で2012年から7.6%の伸び。
- 伸率が高かったカテゴリは、システムセキュリティ管理製品と暗号化製品。
- 情報漏えい対策強化の結果と推測される。

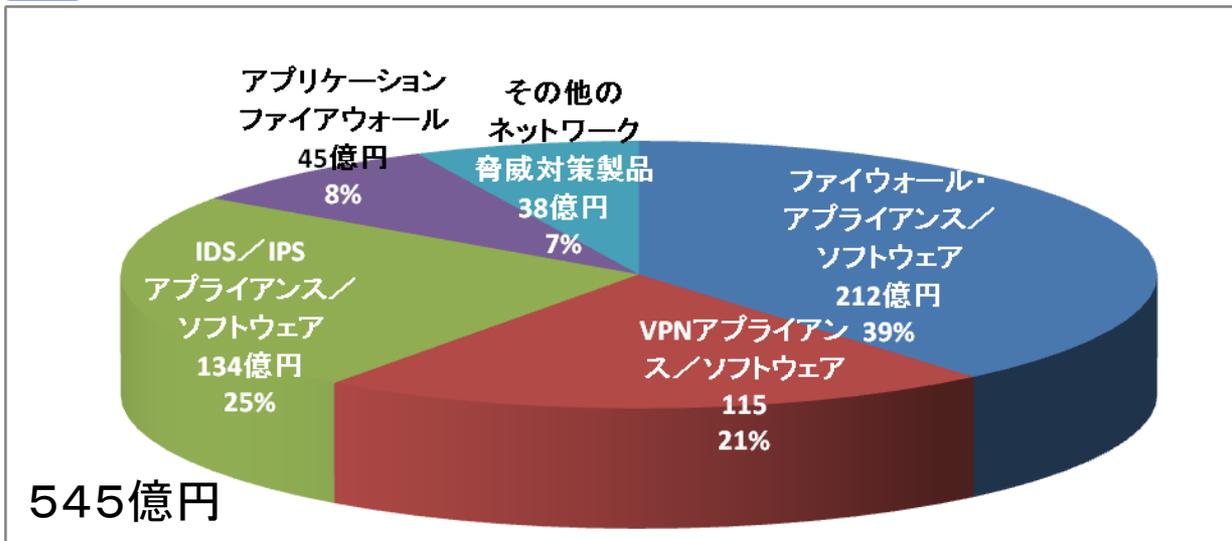




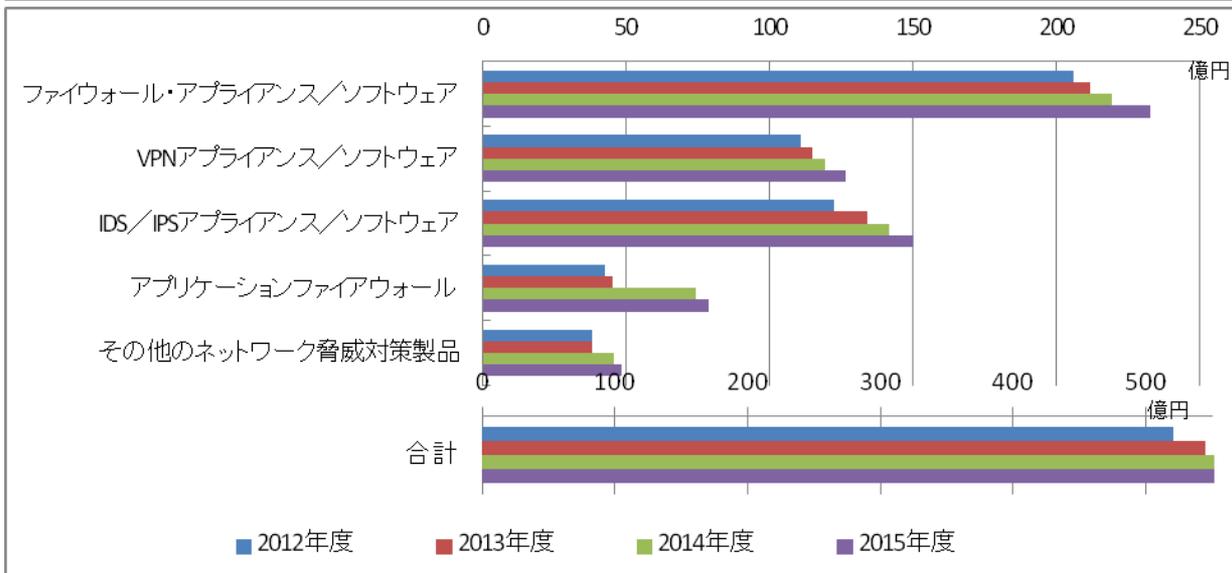
- UTM製品が中心となるこのカテゴリは、成熟市場であるが、インターネット接続デバイスの増加と多様化に伴い、6.6%の高い伸びを示した。
- 標的型攻撃対策でアウトバウンド対策等、より高度化が求められている。
- 既存の更新・増設等の需要も堅調。

ネットワーク脅威対策製品

速報



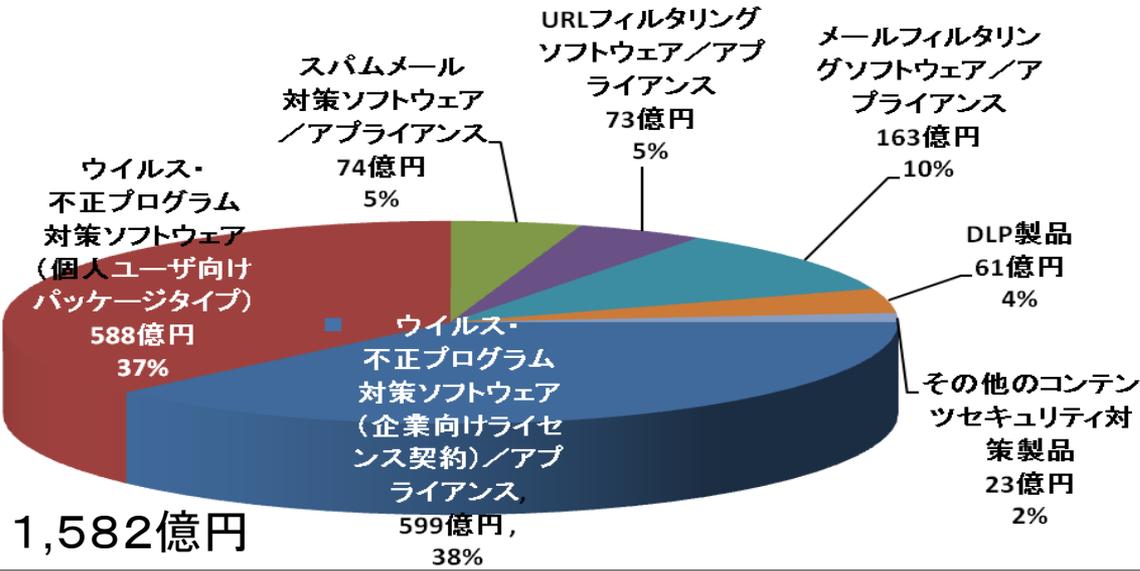
•2012年度のNW脅威対策製品全体では4.5%伸びて545億円



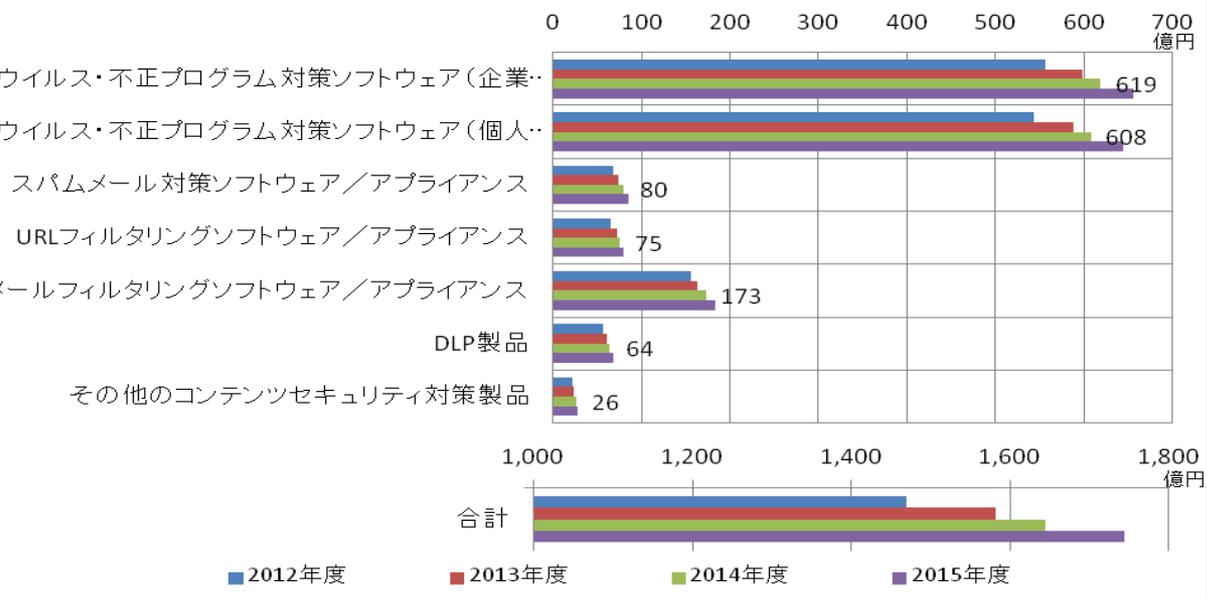
•スマートデバイスの普及による売上増もあり、アプリケーションFWの伸びが堅調。

コンテンツセキュリティ対策製品

速報

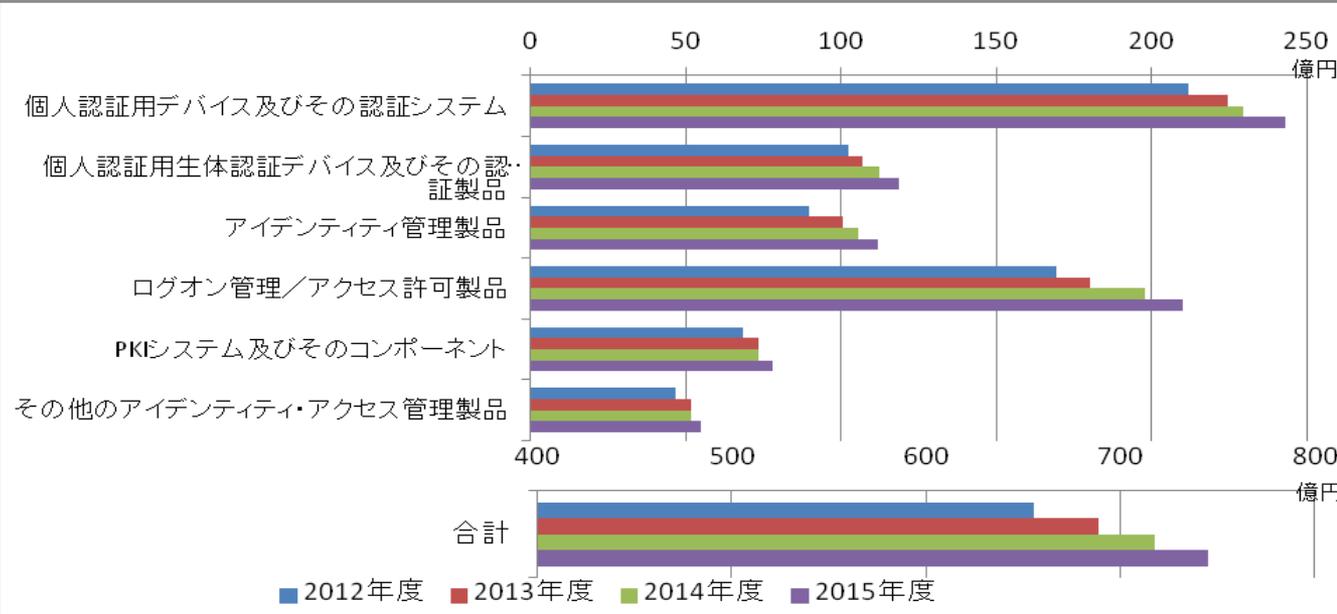
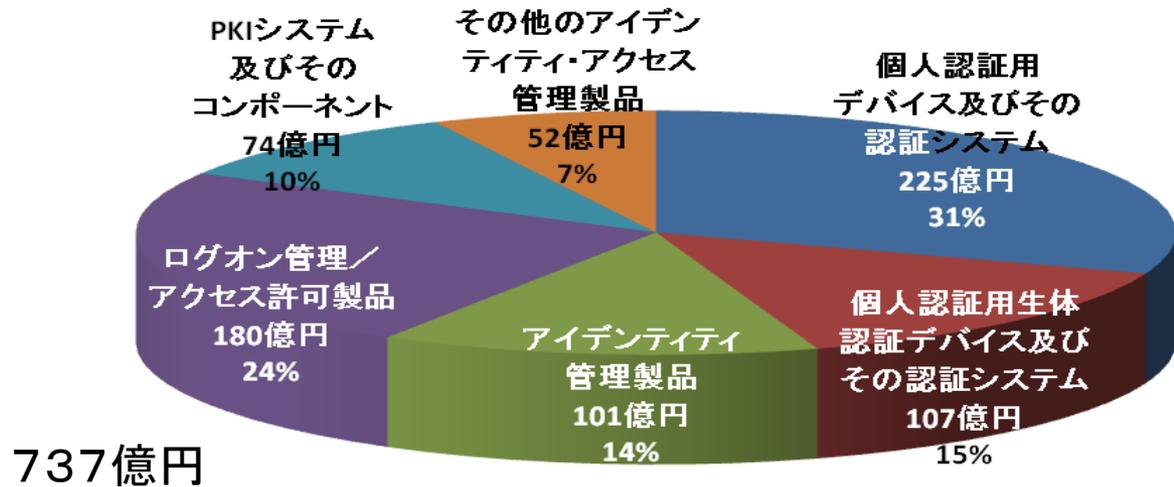


- ウイルス対策ツールは、法人向けと個人向けが各々590億円前後と大きな市場を形成している。
- PCからタブレット、スマホへの需要転換の中、順調な拡大傾向を示している。
- URLフィルタリングが12.6%と比較的高い伸び率を示している。
- スマートデバイスの市場の伸びが寄与し、全体として2013,2014年度も高い水準での伸びが期待できる。



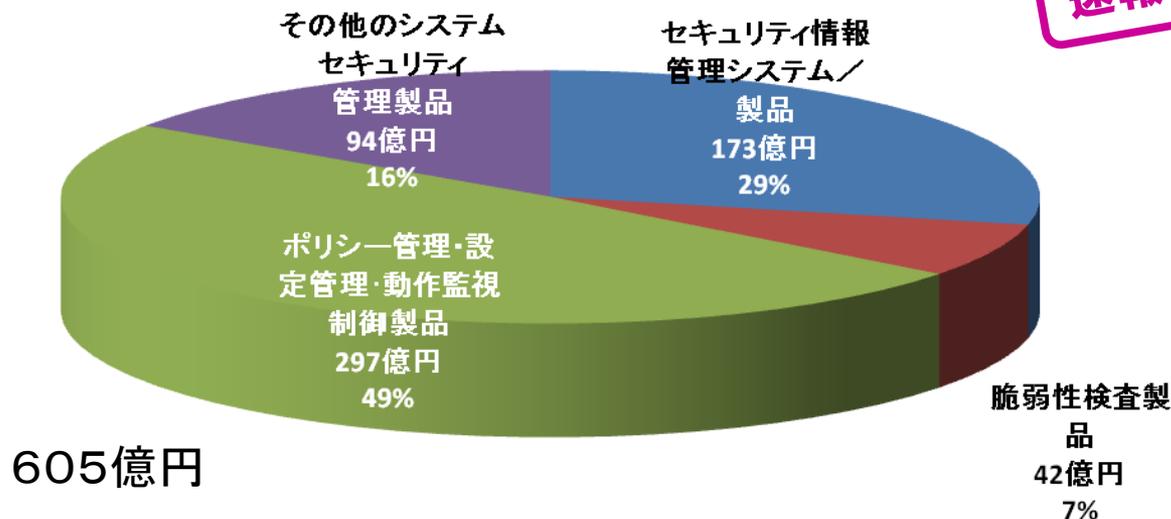
速報

- 標的型攻撃対策で、内部対策の要となるのが、この分野の製品。
- 2013年度は全体で7.1%伸びた。
- スマートデバイスの普及とクラウド環境の一般化に伴い、全体に堅調に伸びを示している。
- 今後、生体認証の伸びに注目して調査を続ける。



システムセキュリティ管理製品

速報

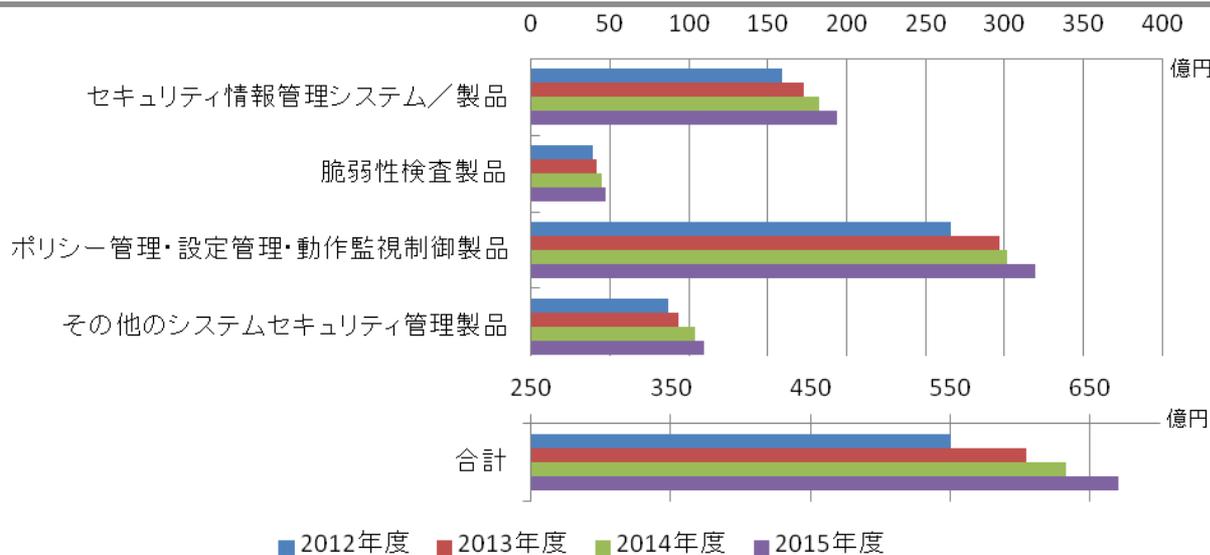


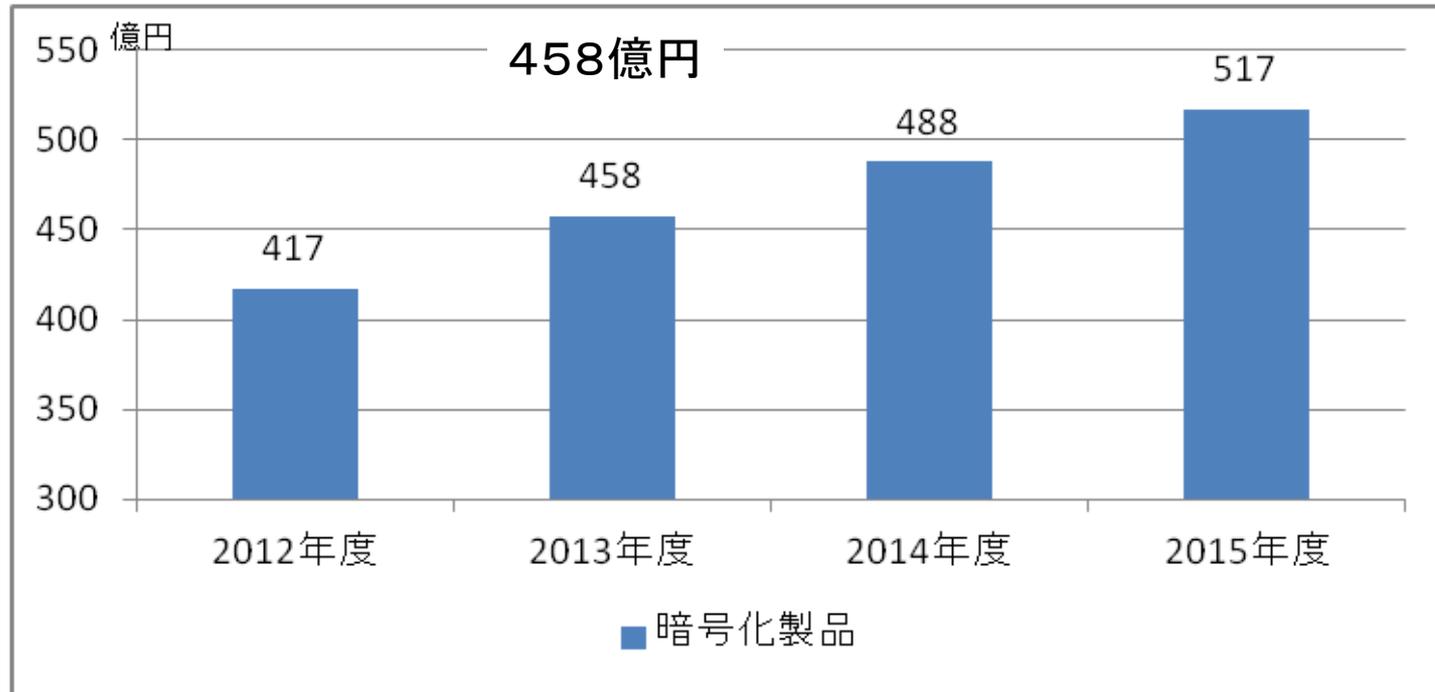
•セキュリティツールの中で9.7%の高い伸びを示し、2013年度は600億円台の規模となったと推測する。

•端末のポリシーや動作を監視・管理する「ポリシー管理・設定管理・動作監視制御製品」は、スマートデバイス対策需要が拡大し11.7%の伸びを示している。

•また、標的型攻撃対策として、内部ネットワークトラフィックの異常を常時監視する「セキュリティ情報管理システム」の需要も堅調。

•その他に含めているログ解析ツールも需要の伸びは大きい。





•2010年度調査から、データ暗号化製品単一分類として調査しているが、情報漏えい対策、知的財産保護対策、標的型攻撃の出口対策としての需要に支えられ、7.6%の高い伸びがあったと推測する。

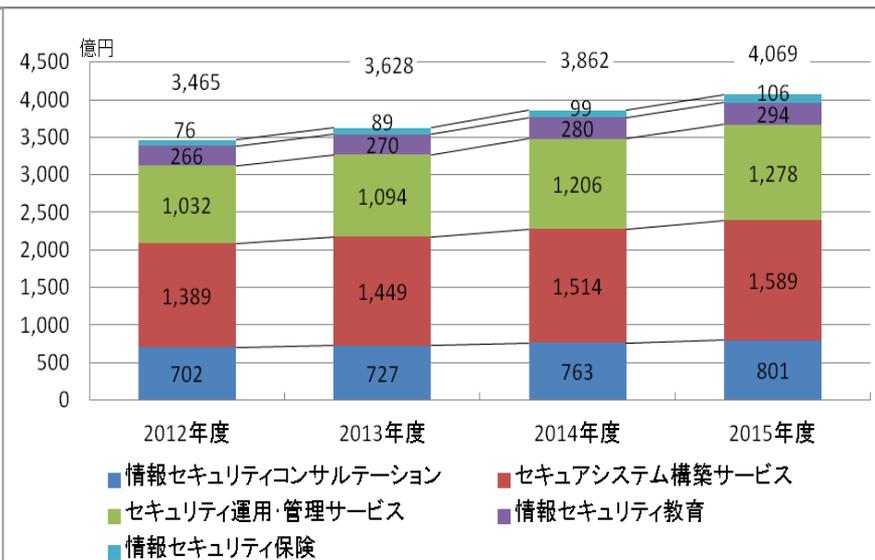
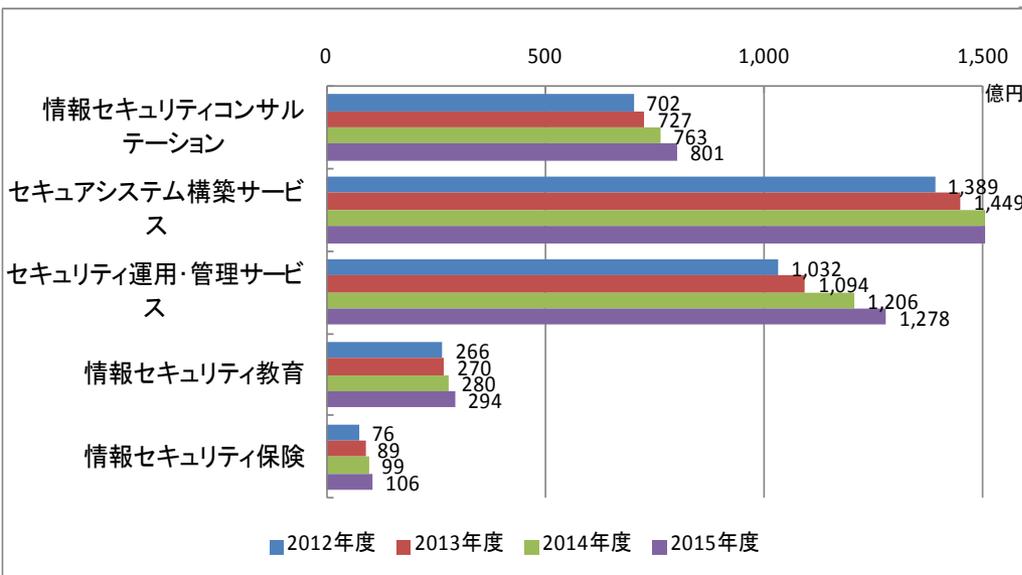
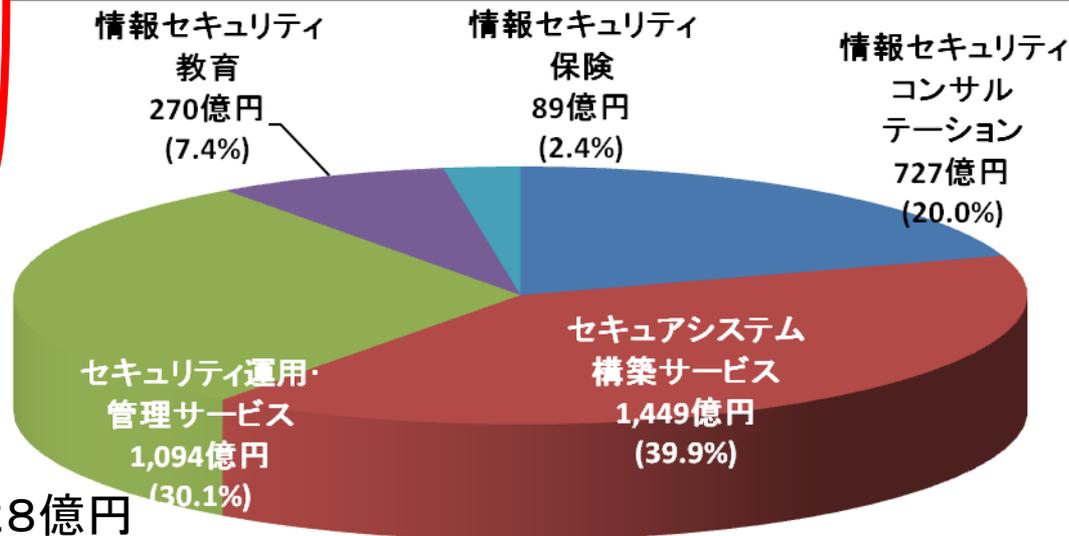
•クラウドの利用浸透も需要拡大要因と考えられる。

情報セキュリティサービス市場推移

サービス全体

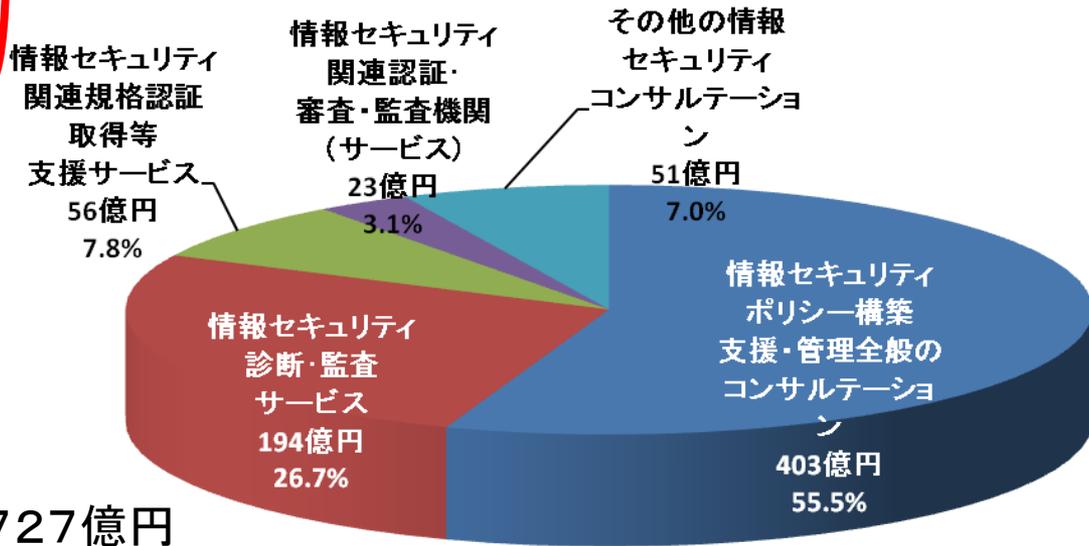
速報

- ・前年比4.7%伸び3628億円
- ・システム構築サービスが最大。標的型攻撃対策などで需要が伸びた。
- ・スマートデバイスを用いた社内システム運用の需要、情報漏えい対策、景気回復が後押ししていると思われる。



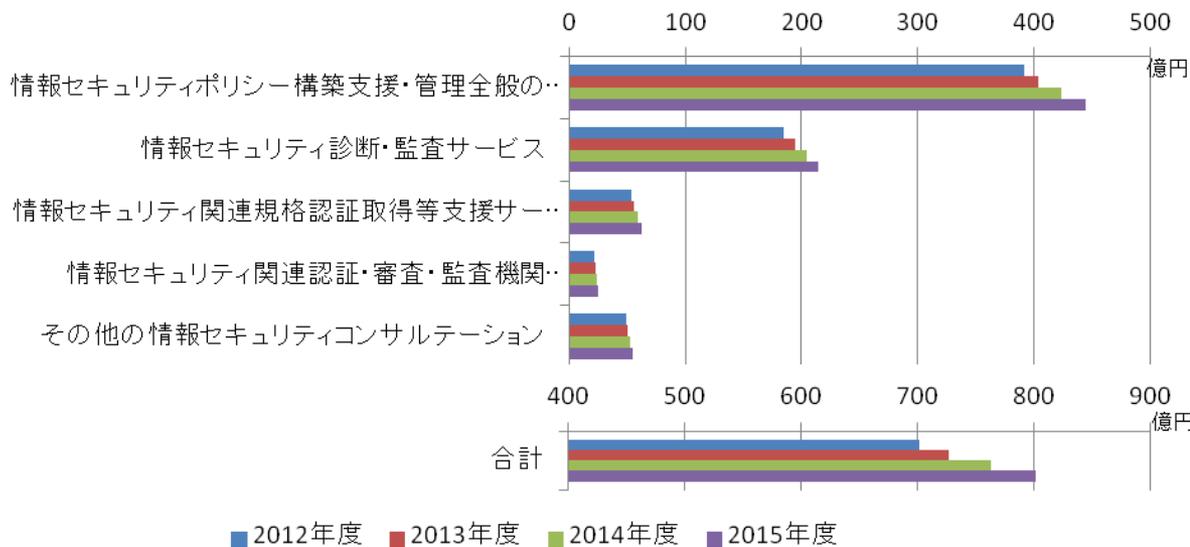
情報セキュリティコンサルテーション **JNSA**

速報



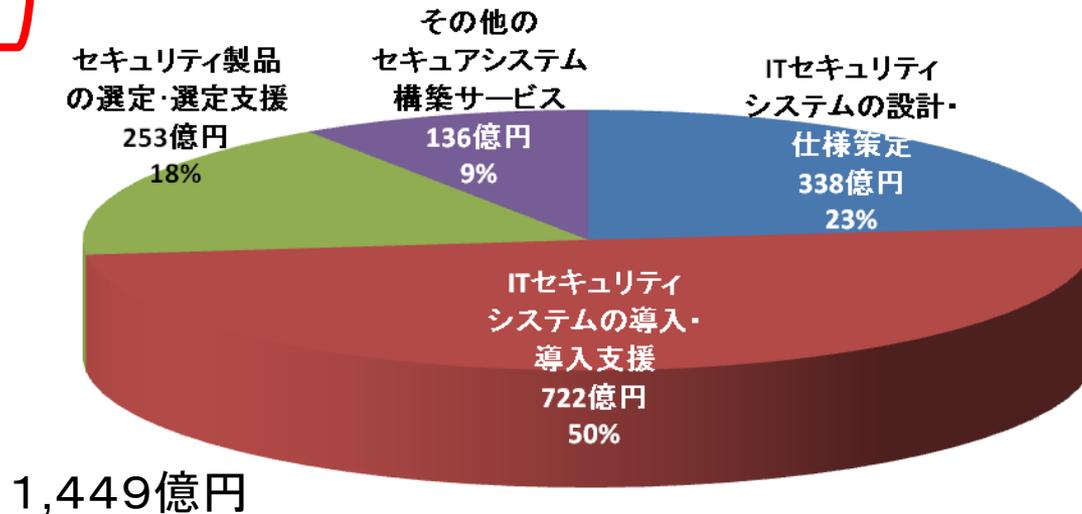
リーマンショック後の景気減退から最も立ち直りが遅く、2012年がボトムと推定してきたコンサルテーション市場も、スマートデバイスの企業内管理の需要増大により、盛り返ってきており、診断・監査サービスが5%伸びて、全体で3.7%の伸びとなった。

セキュリティ対策の総合的再構築のための診断やコンサル需要は今後も伸びが期待でき、調査を進める。

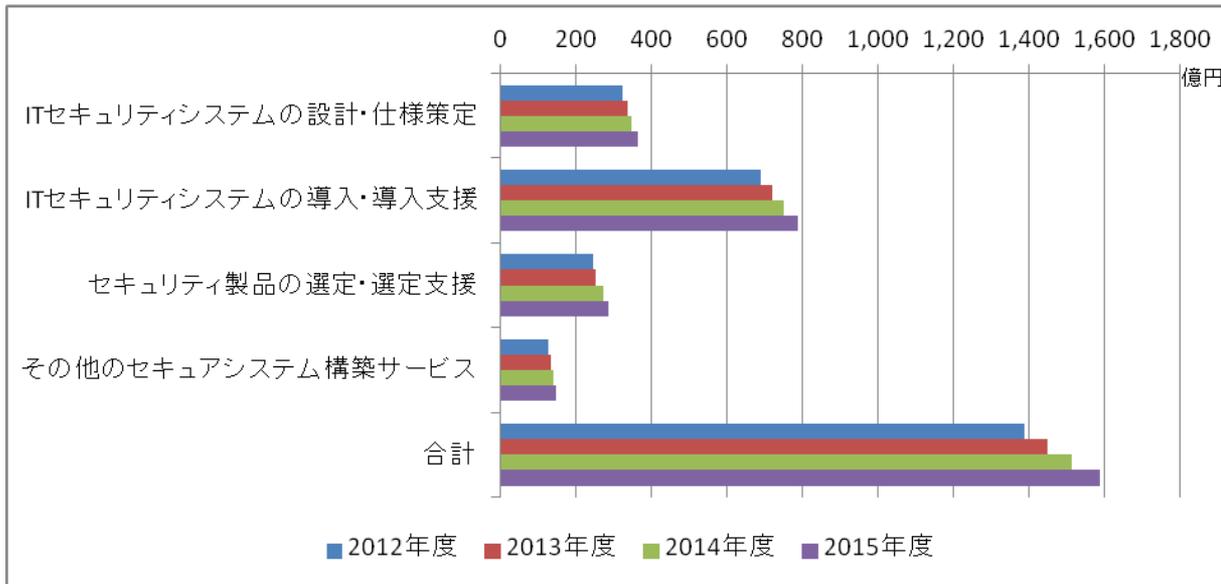


セキュアシステム構築サービス

速報

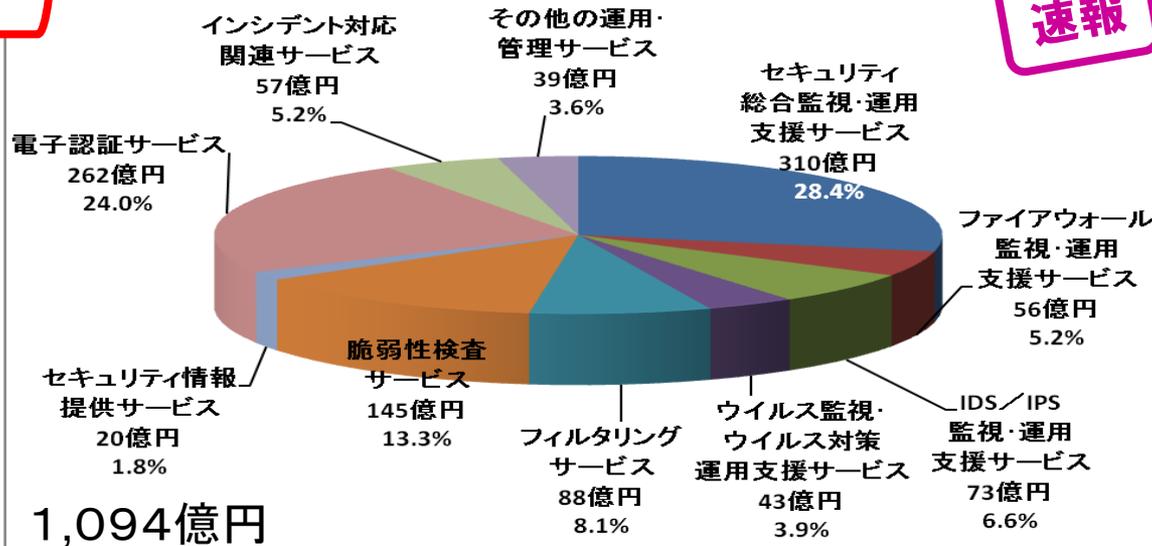


- 全体で1500億円近い大市場だった(2008)ものが、1,200億円強の規模まで縮小。
- 2013年度は全体で4.3%の成長で1449億円まで回復。
- 2014年度でほぼ1,514億円となりV字回復を遂げる予想。



- 今後益々、サイバー脅威対策、スマートデバイス・クラウド環境でのセキュリティSIなど、従来のセキュリティ対策を再構築する需要が高まり、さらなる回復・飛躍が期待できると予測し調査を続ける。

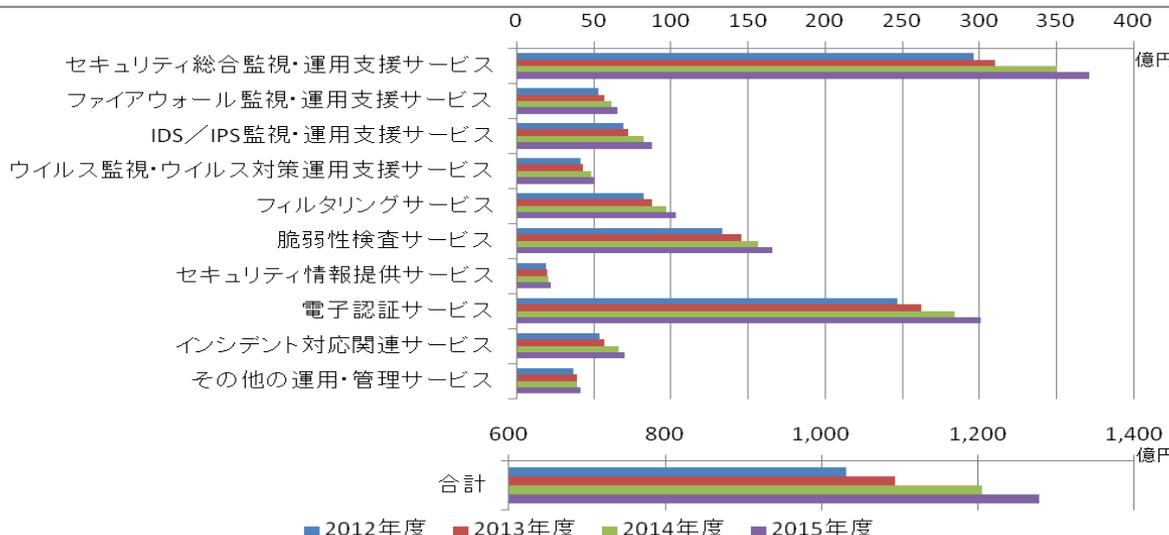
速報



• 専門サービスへのアウトソース化の流れで、年率6%の伸び。

• 運用・監視・支援～フィルタリングのマネージドサービスが約5割。

• 残りを脆弱性検査などのプロフェッショナルサービスと電子認証サービスが半分ずつ占める。

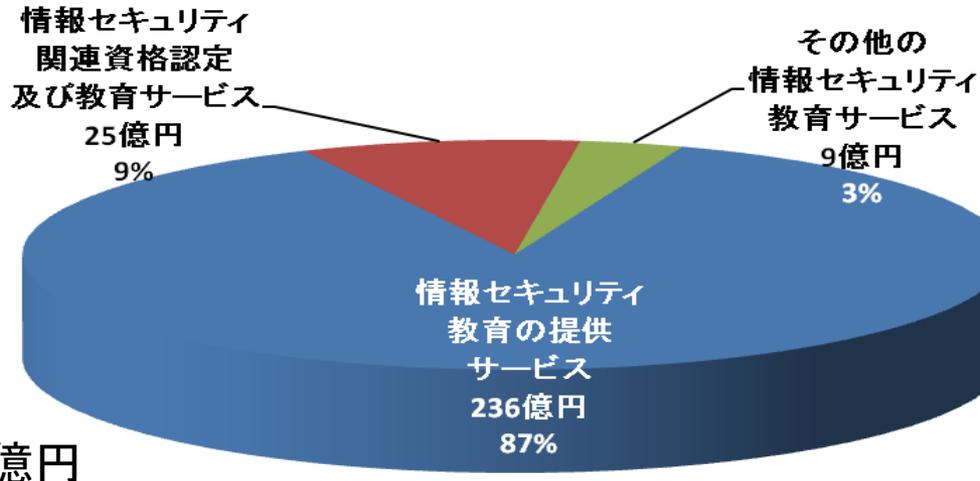


• スマートデバイスの企業内普及とクラウド化の中、この分野は今後益々伸びが期待でき、2015年度には1,300億円市場に迫ると推測する。

情報セキュリティ教育

速報

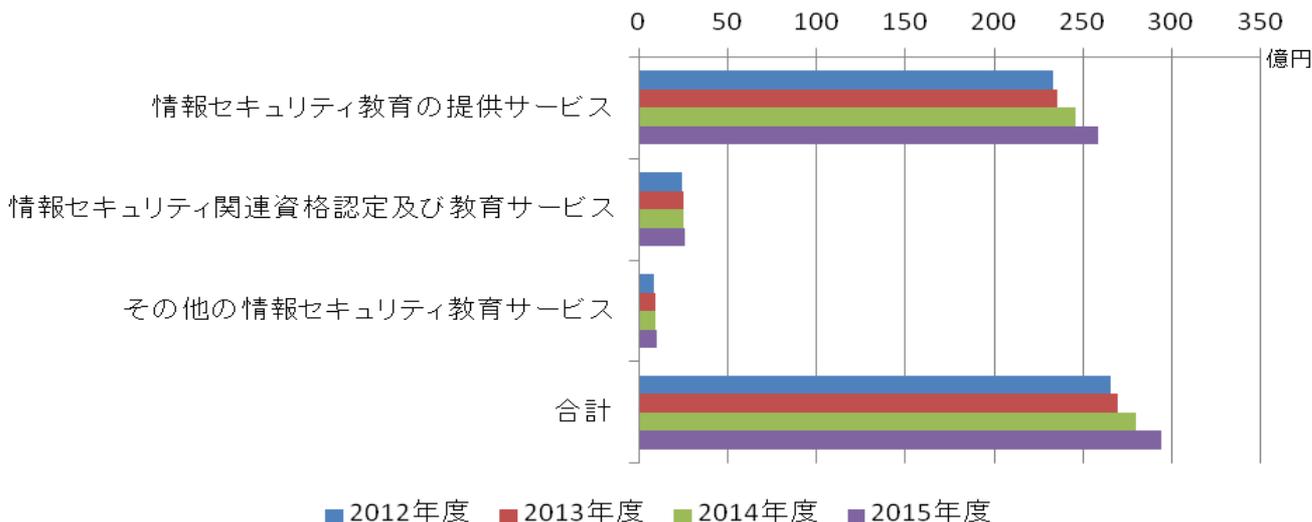
JNSA

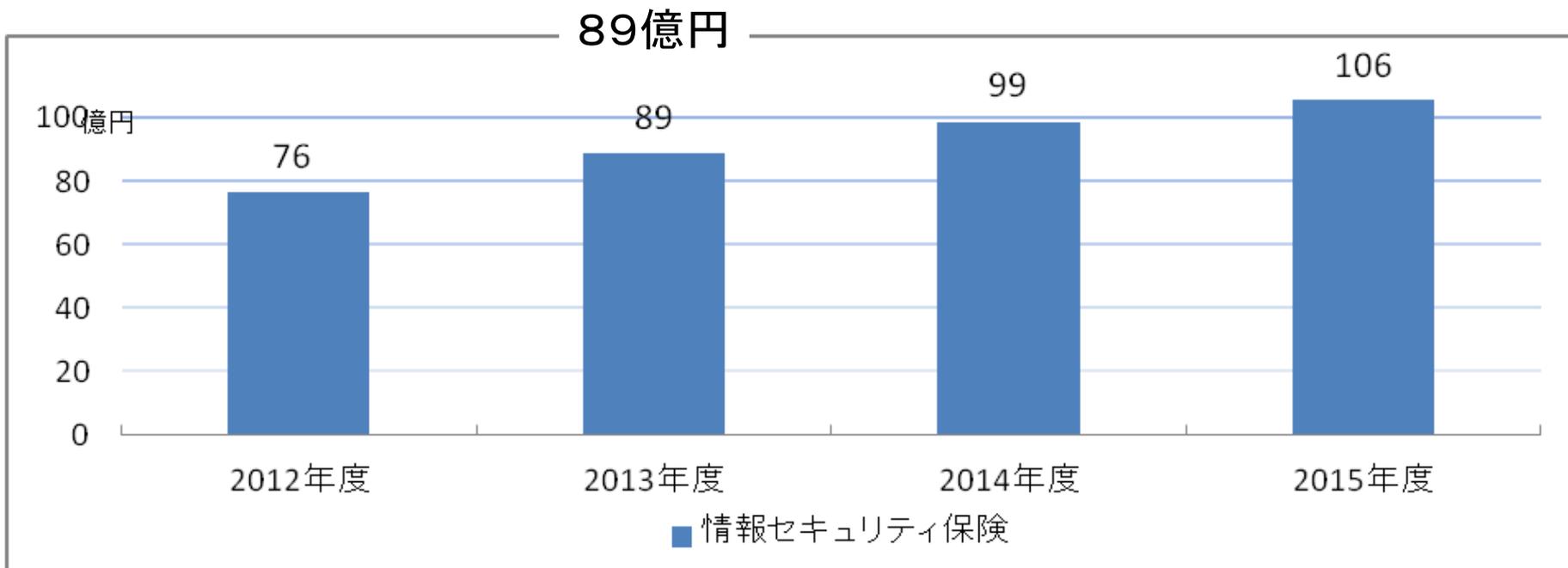


270億円

- 情報漏洩対策
標的型攻撃対策
スマートデバイスBYOD
異業種交流など、
セキュリティに関する
教育の需要が堅調。

- 今後も堅調に推移すると予測する。





- これまで情報セキュリティ保険は、ほぼ80億円手前で市場規模が安定していると思われていたが、ネットワーク犯罪脅威やそれに伴う賠償問題などのリスクを嫌う大企業が、10年前に設計された保険に新規加入し始めている。
- この流れに沿って、今後、保険会社が新たな保険商品やサービスを販売すると、更に伸びが期待できる。

4. 今後の活動スケジュール

■年間活動スケジュール（概要）■



5. 会員の皆様へお願い

・2014年度セキュリティ10大ニュース（JNSA発表：項目抜粋）

- ベネッセ情報漏えい事故
- サイバーセキュリティ基本法
- Heart bleedなどの脆弱性が多発
- オンラインバンキング不正送金の被害急増
- 日本サイバー犯罪対策センター設立
- 警察庁、ビル管理システムの探索行為に注意喚起（制御系システムセキュリティの重要性高まる）
- マイナンバー制度準備進む
- マルウェアによる5600万件のカード情報流出
- 被害が止まらないパスワードリスト攻撃
- DDoS攻撃業者を使ったオンラインゲームの業務妨害で高校生を書類送検

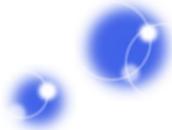
4月までにこれらの中からトピックスを3・4つ抽出して2014年度市場調査報告書の中に掲載する予定です。

執筆にご協力頂ける方はどうぞ、JNSA市場調査WGまで、お知らせください。

よろしく申し上げます。

・スマートデバイスのセキュリティ事情

スマートフォン犯罪（情報持ち出し、標的型攻撃、フィッシング詐欺など）



JNSA

2015年1月20日
JNSA2014年度
セキュリティ市場調査速報

<http://www.jnsa.org>
sec@jnsa.org

ご清聴ありがとうございました！